

# カトリック仙台司教区

## 東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗  
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-12  
カトリック仙台司教区事務局  
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378  
1) 義援金振替口座：02260-9-2305  
名義：カトリック仙台司教区本部事務局  
2) 支援金振替口座：00170-5-95979  
名義：カリタスジャパン

今回は各管区の取り組みから、さいたま教区のベースもみの木(東京教会管区)のオープニング・セレモニーの様相。そして、これまた新しく、仙台教区内の小教区の支援活動をお伝えします。さらに、仙台教区移住者支援活動の現状も担当者の声とともにお届けします。

### いわきサポートステーション 「もみの木」ついに完成!

福島県いわき市中央台高久という新興住宅地の空き地に建てられた10棟の仮設住宅には、約1000世帯の方々が住んでおられます。その側に、「いわきサポートステーション『もみの木』」が完成し、12月23日、開所式を迎えました。



開所式に集まる仮設の方々!

これは、さいたま教区が、大震災直後から、同教区にいちばん近い被災地として福島県をサポートしていくなかで、いわき、湯本、小名浜各教会の信徒と共に、避難所訪問、被災者の方々への傾聴活動を行い、サポートステーションの必要を感じ、今回の「もみの木」建設となりました。



谷、幸田、平賀3司教によるテープカット!

この「もみの木」を拠点に、今後、仮設住宅の方々や地元の方々の交流活動、スポーツ大会、小学生の学習支援、子どもライブラリーなどを行い、いわき市で仮設住宅にお一人でも残っている限り活動を続けたいと決意を表明しています。

### 大船渡にこの人あり!

大震災後、10月にはギャリー・ゲストヴェオ神父様が、11月にはアントニウス・ハルノコー神父様が、大船渡で働いて下さっています。この2人の神父様は、仙台教区の「難民移住移動者委員会」の委員として平賀司教様に任命され、大船渡を拠点にし、沿岸部の人々の支援を視野におきながら、仙台教区全体で次のような活動を展開しています。



フィリピンママたちと!

左ギャリー師 右ハルノコー師!

短期プログラムとして実施していることは、支援物資を必要に応じ配ったり、教区が被災者に支払う支援金の目的などの通訳をし、教区司祭の手助けをしています。さらに、支援者の名簿作りをしました。現在までに、わかっていることは、滞日外国人には、女性と子どもが多く、その多くは、国際結婚をしているので、ご主人は日本人です。国籍は、フィリピンが圧倒的に多く、インドネシア、中国、チリの人もしらっしゃることがわかりました。現在、各教会、各ベースを訪問しながら、目の前に出てくる必要なことに対応しています。

南三陸と大船渡で、パスポートを流されたフィリピン人が8人いらっしゃったのですが、大使館にみんなを連れて行って、大使館員に説明するお手伝いをし、すべて解決しました。後はそのフォローアップと7月には外国人登録の方法が変更されるので、その手続きの説明をしまわする必要があります。



ミサで私たちはひとつになれる!

長期プログラムとして目標にしていることは、共同体づくりとフィリピン人リーダーの養成です。そのために、最も力を入れていることとして、毎月各教会で1回、滞日外国人と共にミサを捧げることを始めました。各教会の希望に沿って、日本語、英語、タガログ語でのミサを共に捧げしています。現在は、石巻、白河、須賀川、大船渡、気仙沼、南三陸でミサを捧げています。青森からも来て欲しいと要請が来ていますが、徐々に増やしていきたいと思っています。

さらに、今、子どもたちの信仰養成は、大きな問題となっています。各教会の司祭と協力しながら、初聖体、洗礼の準備をしていかなければなりません。子どもたちは日本語ですが、そのお母さんは、英語やタガログ語しか話せない人がいます。

ミサについても、子どもたちの信仰教育に関しても、各教会の主任神父様が理解を示し、協力して下さるので、非常に感謝しています。これからも、どうぞよろしく願いいたします。

### 小教区の支援活動から

大震災後、最初に手掛けたのは元寺小路教会共同体信徒の安否の確認や被災された方々への対応でした。幸い当教会では大震災で亡くなった方はいなかったのですが、巨大津波で家屋を失った方は5家族、巨大地震で大規模半壊と半壊の方は28家族でした。心からお見舞い申し上げます。その対応が一段落した7月から、仮設住宅で生活している方々へ教会として支援し、共に寄り添っていけないかということで、サポートセンターの園部英俊さんのお力をお借りして宮城野区役所と連絡をとり準備を進め、9月から同区の港南西公園仮設住宅へは第1・3木曜日午後1時から3時まで、コーヒーや緑茶などを提供することになりました。われわれは、「傾聴」ということに重きをおき、おいしいお茶を提供して2時間という短い時間ですが、寛いでいただく時間、ほっとする時間、癒される時間、自由に語り合う時間を共有しています。10月からは宮城野区役所の依頼で、同区の福田町南一丁目仮設住宅へ第2・4金曜日に同じように出かけて活動を行っています。



仮設の方々とお編み物教室!

われわれの活動がいくらかでも仮設住宅で生活している方々への傾聴に貢献できれば幸いだと思ひこれからも継続していきたいと思ひます。



ベトナムのシスターとばあちゃん!

仮設にて!

カトリック元寺小路教会  
委員長 中村信忠